

第 627 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「水曜見ナイト 新潟気まま旅～春の加茂イチオシぐるめ～」
(5月3日放送分)



平成 29 年 5 月 25 日

BSN新潟放送

第627回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成29年5月25日(木) 午前11:00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者(敬称略・順不同)

委員	相羽利子	委員	古賀豊
委員	正道かほる	委員	佐藤元
委員	池田幸博	委員	小原清文

○委員側欠席者

委員	細田康	委員	小島良子
委員	高木言芳	委員	服部誠司

○放送事業者側出席者

社長	竹石松次	営業本部長	斎藤和利
放送本部長	島田好久	編成局長	増山由美子
情報センター長	大竹正敏		

<説明員> 放送本部情報センター テレビ制作部プロデューサー 磯村茂昭

事務局出席者

事務局員 和田司(広報部長)

4. 議題

1 報告事項 6月の新番組、単発番組について(各局長)

2 審議番組 テレビ番組

「水曜見ナイト 新潟気まま旅～春の加茂イチオシぐるめ～」
(5月3日放送分)

(2017年5月3日(水・祝) 19時00分～19時56分放送分)

5. 議事の概要

各局長からの2017年6月度番組報告等に続いて、テレビ番組「水曜見ナイト 新潟気まま旅～春の加茂イチオシぐるめ～」(5月3日放送分)について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見・質問～

- 内容が盛りだくさんであったが、それぞれ時間が足りなかったという印象はない。スッキリ整理して、手際よく紹介していた。あえて言えば、どれも同じトーンで構成されていて、強弱がなかった。町を紹介する場合、どれを取り上げるのか? 苦労していると思うが、その辺のエピソードがあれば教えてもらいたい。
- 今回はマーボー麺やギョーザなど、グルメ中心で好感が持てた。番組の進行役は男女ペア2組であったが、なぜなのか? 黒崎・三石ペアは初めてのデートを想起させ、良いと思った。旧郵便局の茶店も良かった。子供から大人まで、出演していた人たちが皆、いい味をだしていた。GWさ中のOAで、若者にもそうでない人にも「行ってみたい」と思わせる番組だったのではないか。強いウンチクがなかったことも気軽に見られて良かった。店の場所については、HP上で地図を使った二次的な紹介があっても良いと思う。
- ⑫の取材先をよくまとめていて、楽しく見られた。全体から加茂のいい雰囲気伝わってきた。食べ物も奇をてらわず、どこにでもある素材を美味しそうに映していた。ただ、番組の最後をなぜカラオケでシメたのか?
- 何故、加茂が“越後の小京都”と呼ばれるのか、歴史的な背景を盛り込むと、商店街がこうなっていることが“腑に落ちる”のでは? 番組全体にも深みがでると思う。
- ゴールデンタイムの番組を放送していることに地元として誇りに思う。会話が面白く、BGMも軽快で、最後まで飽きることなく見られた。東京への単身赴任時代、「モヤさま」が好きで見えていたが、“共鳴感”が街歩き番組の大切なところ。地域の魅力をこれからも発信してほしい。

～新潟放送 放送本部情報センターテレビ制作部 磯村茂昭プロデューサーから～

- 貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。何回か番組審議会に出ているが、こんなに好評価なのは初めて。番組の制作に関しては、仕込みと番組チェックは私がやったが、制作自体は外部のプロダクションに依頼したもの。実はネタ選びは、地域の商店街組合が出した「加茂本」の中からバランスを考えてチョイスした。⑫のネタは“欲張り過ぎ”と周りから言われたが、絞りきれなかったというのが実情だ。⑫個並べただけでは飽きるかなと思ったが、飽きられずに見られたとしたら嬉しい。ご意見を参考に、これからもぶらり旅を頑張っていきたい。

【文責・番組審議会事務局】
